

一 般 (代 表) 質 問 通 告 一 覧 表

平成 3 1 年第 2 回 笠 岡 市 議 会 定 例 会

3 月 2 日 ・ 6 日 (2 日 間)

通 告 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 者
1 徳清会 馬越 裕正	1 市長公約の実 現について	<p>小林市長就任して3年が経過しようとしている。以下の7つの政策について、今までの成果と今後の取り組みについて尋ねる。</p> <p>(1) 地場産業の育成と企業誘致による雇用の拡大。</p> <p>(2) 水道料金の値下げ。</p> <p>(3) 公共交通システムの見直し。</p> <p>(4) 議員定数の見直しとまちづくりへの再投資。</p> <p>(5) 笠岡消防署南署を北木島に設置し、島しょ部の特に夜間救急へ迅速な対応。</p> <p>(6) 経済的支援を中心とした子育て環境の充実。</p> <p>(7) 健康寿命世界一を目指す。</p>	<p>市 長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p>
	2 来年度の予算 編成方針につい て	<p>来年度の予算編成方針について、以下の5点について尋ねる。</p> <p>(1) 「稼ぐ」の具体的な内容と、予算に対する費用対効果の目標。</p> <p>(2) 「賑わう」の内容で、シティプロモーションに取り組み、定住促進事業を効果的に行い、市民が参画・協働する具体的なまちづくり。</p> <p>(3) 「輝く」の、子供たちに郷土を愛する心が育まれる具体的な手法。</p> <p>(4) 「安らぐ」では、住み慣れた地域で、安心して暮らせる具体的施策と予算額。</p> <p>(5) ふるさと納税の推進とあるが、縮小する方向性を出していると思うが、矛盾しないか。また、使用料・手数料の見直しとある</p>	<p>市 長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p>

	<p>3 笠岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略について</p>	<p>が、市民の負担増大にならないか。</p> <p>笠岡市では、今後5カ年の目標や具体的施策をまとめた「笠岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を平成28年8月に策定している。目標は次の5点である。</p> <p>ア 新しいしごと・安定した雇用を創出する イ 笠岡への新しいひとの流れをつくる ウ 若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる エ 子供が健やかに育つ教育環境をつくる オ 時代に合った特色ある地域をつくり、地域と地域の連携を進める</p> <p>(1) 新年度の予算や事業計画の中で、これらの目標実現に向け、何を重点におき、どのように行っていくのか尋ねる。</p> <p>(2) 創生総合戦略の成果をさらに上げるために、特に大切だと考えることは何か。また、どのように進めていくのか尋ねる。</p>	<p>市 長</p> <p>”</p>
	<p>4 J R笠岡駅周辺整備計画の実現について</p>	<p>笠岡市のまちの活性化のカギを握るJ R笠岡駅周辺整備計画は、第7次総合計画における核となる事業である。</p> <p>以下、2点について尋ねる。</p> <p>(1) 計画づくりは少しずつ進んでいるが、肝心の実現に向けてのステップの提示</p> <p>(2) 駅舎の橋上化、駅南口・駅前広場の整備、駅周辺の空き地の有効利用、土地や建物の買収など、いずれも相手があって、困難なことが十分予想される。整備全体について、どの程度の費用がかかるのか。また、その財源を含めての見通しはあるのか。</p>	<p>市 長</p> <p>”</p>
	<p>5 笠岡市民病院の今後について</p>	<p>笠岡市民病院について、今回の補正予算案では2億円の長期貸付金がある。また、当初予算案の病院費には病院事業会計補助金がある。説明欄には、救急医療、高度医療、医師確保対策</p>	<p>市 長</p>

	<p>6 市役所建てかえ問題について</p>	<p>などに要する経費と不採算部門の運営に要する経費に対し補助するとある。市長は、この3月には笠岡市民病院のあり方について結論を出すといわれていると思うが、結局どのような結論を出すのか尋ねる。</p> <p>先日、会派で人吉市に視察に行ってきた。驚いたことは市役所がなかったことである。熊本大地震の影響で、前の市役所が取り壊されている。多少の不便さはあるようだが、職員は通常通りに仕事をしている。今、別の場所に建設の準備をしているそうである。笠岡市の市役所建てかえ問題をどのように考えているのか尋ねる。また、通常の業務では勿論であるが、非常時に本部としての機能も含めた今後の方針について尋ねる。</p>	<p>市長</p>
<p>2 新政みらい 大本 益之</p>	<p>1 2019年度(H31年度)の予算編成及び市長公約の見通しについて</p>	<p>(1) 2019年度の予算編成の特徴について、大きい物から5点尋ねる。</p> <p>(2) 次年度についても財政調整基金を取り崩しているが、なぜこのような予算編成となったのか尋ねる。</p> <p>(3) 財政調整基金を取り崩すこととなれば、緊急避難的な事業項目とその金額について尋ねる。</p> <p>(4) 歳入が減少傾向時代であればスクラップアンドビルドの予算編成は必須であるが、どのような事業をスクラップしたのか大きい物から5点と合計金額について尋ねる。</p> <p>(5) 市長任期の最終年度予算となるが、以下の公約の進捗状況と、実績額及び次年度予算と効果について尋ねる。</p> <p>(ア) 地場産業の育成と企業誘致により雇用の拡大について</p> <p>(イ) 水道料金の値下げについて (1,000円/月・世帯)</p>	<p>市長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>市長</p> <p>〃</p>

		(ウ) 公共交通システムの見直しについて (エ) 議員定数の見直しとまちづくりへの再投資について (オ) 笠岡消防署南署を北木島に設置，夜間救急への迅速な対応について (カ) 経済的支援を中心とした子育て環境の充実について (キ) 目指せ健康寿命世界一について (6) 公約が達成できなかった場合の考え方について尋ねる。	市長 " " " " 市長
	2 防災・減災について	近年，地震・津波・大雨・噴火等の災害が毎年のように発生し，大きな被害が全国各地に発生している。このことから，しっかりと災害と向き合い対応していくことが求められる時代となったと考えられる。 過去に被災した地域だけではなく，全国的に防災・減災について様々な取組みが行われるようになってきたと感じられる。首都圏を中心とした帰宅困難者支援協定等の取組みなどその地域の実情に合った取組みが行われつつある。 以下，尋ねる。	
		(1) 笠岡市の地域防災計画改定の取組みについて (2) ハザードマップの精度向上と周知について (3) 7月豪雨で被災したことを受け住民意識も大きく変化したと考えられるが，住民意識調査の実施について (4) 市民の防災・減災意識の向上に向けた取組みについて (5) ハード面での防災・減災の取組みについて（道路・河川・水路等）	市長 " " " "
	3 人口減少による課題について	人口が減少することによって様々な問題が生じてくる。	

		<p>人口減少による経済活動の縮小，税収減による行政サービスの低下，地域公共交通の撤退・縮小，空き家・空き店舗・耕作放棄地の増加，地域コミュニティの機能低下等，本当に多くの問題が発生する。笠岡市ではこういった問題に対して定住促進センターを設置し早くから対策をしてきた。中でも全国的に空き家バンクの取組みについて好評である。</p> <p>空き家についての取組みについて，以下，尋ねる。</p> <p>(1) 空き家バンクの状況について</p> <p>(2) 地区ごとの空き家率について</p> <p>(3) 空き家バンク登録者への特典について</p>	<p>市 長</p> <p>〃</p> <p>〃</p>
3 笠栄会 奥野 泰久	1 新年度予算案について	<p>(1) 新年度予算案の「ねらい」・「目的」は何か。</p> <p>(2) この予算案で市民生活はどう変わるのか。</p> <p>(3) イノシシ対策についてはどのように対応するのか。</p>	<p>市 長</p> <p>〃</p> <p>〃</p>
	2 市民病院の今後の運営について	<p>(1) 平成 29 年 6 月の議会意見書，さらに市民病院改革調査特別委員会から要請された「適正規模の病院の建設または廃止について，候補地を含めた具体策」について，執行部としての結論は出されたのか。</p> <p>(2) 病院事業管理者の招聘について尋ねる。</p> <p>(3) 医師の待遇改善について尋ねる。</p> <p>(4) 減価償却費など現金・預金として内部留保されている現金支出を伴わない費用の減価償却累計額はどのくらいか。</p> <p>(5) 平成 29 年度末，累積欠損金 35 億 5,909 万円は全てが赤字ではなく，市の負担で返済すべき赤字ではないと考えるが，十分な説明ができているのか。</p>	<p>市 長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p>

		<p>(6) 自己資本金 36 億 6,300 万円の内、繰入資本金はどのくらいあるのか。あるとすれば「減資」ができないのか。</p> <p>(7) 問題は手持ち現金。実務者いわく、「感じることは通常 100 床で、手持現金は 10 億円。医師退職などによる減収があっても、数年は踏ん張れる金額」だそうです。</p> <p>194 床の市民病院の場合、20 億円程度が理想です。</p> <p>半分の 10 億円の手持ち現金の確保のために、どのような方策を考えているのか。</p>	市 長 〃
	3 議会の緊急課題である議会事務局の増員・充実強化について	<p>(1) 本来、議会は「議事機関」であり、笠岡市の意思決定機関であります。条例制定の主体である議会に法の専門職員がいません。直ちに、専門職を配置できないか。</p> <p>(2) 予算修正動議が議会の本来の機能であることから、財政の知識がある職員の配置を求めるがいかがか。</p> <p>市長の見解を求める。</p>	市 長 〃
4 讃志会 東川 三郎	1 企業誘致の今後の方向性について	<p>その昔、港町の県営工業団地にサッポロビールが来るといって、永い間そのままになっていた約 11 ヘクタールという広大な用地に、今年 2 月に入って、萩原工業の進出が決まり、これで、小林市長になって笠岡市への企業誘致は 11 社となっています。短期的には企業誘致促進ともいう助成金が一時的には持ち出しとなりますが、長期的には税収が増え、働く場の確保も充実するもので非常に喜ばしいものです。</p> <p>しかし、港町、内陸、茂平等、市内の工業用地及びいくつかの準工業用地とも、ほぼこれで満杯の状況となっております。</p> <p>(1) 企業誘致はこれくらいでいいと思っているのか、まだまだ進めて行くと考えているのかお尋ねします。</p>	市 長

	2 高齢者・障害者向けのコミュニティバス（移動手段）の運行について	<p>(2) 今後の用地確保をどうされるのか、そのためには、工業用地の色塗り線引きをされようとしているのか、都市計画審議会を開催されようとしているのかお尋ねします。</p> <p>(1) 大島及び北川のまちづくり協議会で「買い物」、「病院」、「公的機関」への移動に関し、6人～10人乗りのワゴンバスを運行されております。この活動を各地のまちづくり協議会に広げられないかお尋ねします。</p> <p>(2) タクシー券の交付について、移動手段に困っておられる75歳以上の方々にとってはありがたい施策ではありますが、条件が厳しいと思います。条件の緩和策を考えてもらえるかお尋ねします。</p>	市 長 関係部長 〃
	3 市民病院について	市民病院については何度となく質問しています。今後の方向性だけでも市長のお考えをお尋ねします。	市 長
	4 人事異動について	市長は所信表明で、年功序列でなく若手でも能力、または意欲のあるものを起用していくと言っていました。そのようにできているかお尋ねします。	市 長
5 立真会 坂本 公明	1 小林市政の3年間を振り返って	<p>市長は、平成28年4月に就任され、早いもので間もなく今任期の最終年度を迎えられる。笠岡市政には課題も少なくない厳しい状況下で、市長なりに新たな施策にも取り組まれてきた。</p> <p>そうした中で、この3年間にはいろんな局面もあり、市長としても色々な思いの中で、振り返り総括されていると思う。</p> <p>そこで、1期目の任期が間もなく終わろうとしている今、3年間を顧みての率直な思いと、以下の点について今後どのような方向に導こうと考えておられるのか、お尋ねする。</p> <p>(1) 財源確保について</p> <p>(2) 人口対策について</p>	市 長 〃

		<p>(3) 公共施設について</p> <p>(4) 教育行政について</p> <p>(5) 福祉行政について</p>	<p>市長</p> <p>〃</p> <p>〃</p>
<p>6 日本共産党 樋之津倫子</p>	<p>1 誰一人置き去りにしない福祉政策を求めて</p>	<p>長期不況、高齢化の深化する社会・経済の下で貧困と格差は広がり、介護保険料引き上げ、年金引き下げ、高い国保税など市民の暮らしをさらに圧迫してきました。</p> <p>昨今耳にする、高齢者の親と、閉じこもりの中高年者世帯が、親の死後、生活が立ち行かず、生命の危険にも及ぶという 8050 問題も、テレビ報道される児童虐待や、DV 事件も事前に何とかならなかつたのかと心が痛みます。経済的困窮を含め、こうした問題は、社会的孤立問題と無関係ではありません。</p> <p>2010 年の P S S (パーソナルサポート事業)開始後、各地でモデル事業が展開され、2015 年施行の生活困窮者自立支援法は、憲法 25 条に反する生活保護給付引き下げと抱き合わせであることを除けば、困窮者の経済的自立と社会参加を実現する点では重要な役割を果たしてきています。</p> <p>その教訓は「ワンストップ・サービス体制」や「伴走型支援」の必要性でした。引きこもり、障害・精神疾患や障害が疑われる、虐待、多重・過重債務、ホームレス、依存症など、困窮の背景に複雑な問題を抱え、ニーズが表面化しない例も多いといえます。その中で制度運用として①支援が必要な人に必要なサービスと情報を届ける「アウトリーチ」②個別の状況に対応した支援の継続的实施が重要視されています。</p> <p>困難を抱える市民の誰一人置き去りにしない福祉行政を求め、12 月議会での我が党、井木議員の質問への御回答や、実施自治体での教訓・課題をもとに、以下、お尋ねします。</p>	

		<p>(1) 先の議会で4月-10月期の相談等実績が示されました。改めて年間の実績と、支援実態（上記①，②を含め雇用対策・生活保護・任意事業など）について尋ねます。</p> <p>(2)(ア) 介護保険制度の包括支援制度も地域のサポーターやボランティアの登録がなされています。また，民生委員や社協の福祉委員体制も進んでいます。潜在的なニーズ掘り起こし，地域や他団体との連携・庁舎内の連携をどのように行っていますか。</p> <p>(イ) (ア)にかかわり，税の滞納者に占める困窮者割合をどう把握していますか。</p> <p>(ウ) 施策の運用上，特に庁内での連携強化に向けて箕面市では個人情報保護条例を改正し，スムーズに適正なサービスにつなげています。連携のネットワーク化とスムーズな支援の運用に必要と考えますが，お考えを伺います。</p> <p>(3) 市の相談機関をまとめて連携の強化を図り，相談者への利便性を高めるために「ワンストップ」の相談窓口設置を考えられないか尋ねます。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>市長</p>
	<p>2 学校統廃合より小さくても輝く学校の存続を求めて</p>	<p>学校規模適正化計画のもとに進められてきた小中学校の統廃合問題が一旦凍結され，来年度からどうなるのかと市民の不安が募っています。地域の文化と絆を重視し，「1人を育てるのにひとつの村が要る」ほど地域全体で子育てする大切さを思い起こしながら，小さくても輝く学校の存続を求め，以下，お尋ねします。</p> <p>(1) 31年度，教育委員会として，市民の声をどう集約し，それに応えようとしていますか。</p>	<p>教育長</p>

		<p>(2) 笠岡市は少人数学級や、少人数校における教育実践を長年島しょ部を中心に行ってきました。その成果の積み上げを、陸地部でも生かすべきではないかと思いたがいかですか。</p>	教育長
<p>7 公明党 齋藤 一信</p>	<p>1 笠岡市・防災 減災のまちづくりの 考えについて</p>	<p>毎年のように大規模な自然災害が頻発し、しかも激甚化していることに笠岡市民は不安を募らせています。防災・減災対策は、行政が取り組むべき最重要課題にほかなりません。公明党は防災・減災を「政治の主流、社会の主流に押し上げるべき」だと、国や地方の取組みから国民の防災意識に至るまで改革を進める必要性を強く訴えてきました。今、政府も国土強靱化基本計画の見直しに取り組んでいます。「いつでも災害が起きる」との前提に立った抜本的な対策強化を国と県、市が一体となって取り組んでいかななくてはなりません。今なお、7月豪雨災害で被災され仮設住宅生活を余儀なくされております笠岡市民の方々の一日も早い復興を願い、質問をさせていただきます。</p> <p>(1) 大型地震に備えた上下水処理施設の耐震化、木造住宅の耐震化向上のための支援など、笠岡市が行うインフラにおけるハード・ソフト両面での防災・減災対策の取組みについてお尋ねします。また、防災減災の観点より災害本部機能としての市役所本庁舎の耐震化不備に対する対策、被災時市民の生命を守る拠点となるべき笠岡市民病院の建てかえ・立地計画をお尋ねします。</p> <p>(2) みずからの手で自分や家族を守る「自助」、地域での支え合いによる「共助」は、行政による「公助」と一体となり協働で防災・減災を推進していくべきことを今年の7月豪雨では学ばせていただきました。自</p>	市長

		<p>助・共助の点での地区防災計画を市として認めていく制度もありますが、笠岡市の地区防災計画の認定に対する認識と、その課題についてお伺いします。地域の実情に合わせた防災対策について、地区防災計画の認定の方向性も含め、御見解をお伺いします。</p> <p>(3) 防災・減災を進めるためには、行政・企業・市民団体などすべての関係機関が、主体的に取り組んでいくことが重要です。あらゆる市民が安全・安心に暮らすことができるまちづくりのために、ステークホルダーによる防災・減災を推進していくべきと考えますが、笠岡市の今後の考えをお尋ねします。</p> <p>(4) この度の笠岡市を襲った7月豪雨を記憶にとどめ、この経験や教訓を未来の笠岡市の防災へ生かすために、市民からも資料を提供いただき、記録誌を発刊し継承していくことが重要だと考えます。市の考えをお示してください。</p> <p>公明党は、「まち・ひと・しごと」の地方創生の中心は「ひと」とあるとの観点から、例えば、地方創生関係交付金を、地方在住者の起業や就業にも活用できるよう改善を進めてきました。これをさらに、別の地域から移住してくる人の起業や就業へも支援の対象を広げるなどの対策を展開しております。</p> <p>(1) 笠岡市の創生の成否は、いよいよ重大な局面を迎えているといえます。笠岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略の現状と今後の効果、見通しについてお尋ねします。</p> <p>(2) JR笠岡駅周辺整備基本構想実現に向けて、市有地未利用地（美の浜）の売却等で</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>
<p>2 笠岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略の最終年度にむけての現状と今後の見通し</p>			<p>市 長</p>

		<p>自主財源を確保し，積極的にＪＲ笠岡駅周辺整備事業が行える財政力をつけていくことが望ましいと考えますが，財源確保の現状とＪＲ笠岡駅周辺整備計画の進捗をお尋ねします。</p> <p>(3) 笠岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗を踏まえた学校規模適正化と小中一貫教育，幼保一体化の推進についての市のお考えをお尋ねします。</p>	<p>市長</p>
--	--	---	-----------